

平成27年度 事業報告

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

平成27年度における当財団法人が実施した事業概要は下記の表のとおりである。

主たる事業の「研究助成」は40件、「多施設共同研究助成」は新規2件、継続4件と何れも計画通りの助成数で、採択率は夫々38%、18%(新規分)となった。「研究助成」の応募数は105件と前年度より16件減少したが2年連続で100件を超え、また「多施設共同研究助成」は11件と平成20年度の助成開始以来初めての2桁応募となった。「顕彰」は4件、全国的な規模のライブセミナーを助成する「研究会助成」は6件と何れも計画通りの助成を実施した。一方、「海外研究医受入助成」で来日中止が1件、「海外派遣助成」で学会参加取り止めによる辞退が1件発生したことで、両助成は夫々470万円、440万円と計画未達に終わった。

以上、当年度も財務環境が厳しい中で計画に基づく慎重な運営により、合計では4,367万円予算執行率99.4%と概ね計画通りの助成を実施した。

摘要	金額	備考
1. 定款第4条(1)の事業	2,700万円	内視鏡医学研究に関する研究助成 研究助成金(A) 100万円×2名 研究助成金(B) 50万円×38名 多施設共同研究助成 第1年次 100万円×2名 第2年次 100万円×2名 第3年次 100万円×2名
2. 定款第4条(2)の事業	200万円	内視鏡医学研究に功績のあった者に対する顕彰 顕彰金 50万円×4名
3. 定款第4条(3)の事業	180万円	内視鏡医学に関する研究会の振興に対する助成 研究会助成 6件 (前年度4件)
4. 定款第4条(4)の事業	470万円	内視鏡医学研究のため来日する海外研究医に対する助成 海外研究医受け入れ助成 11件 (前年度10件) ロシア3名、カボ・ジヤ2名、インドネシア、コロンビア、中国、 ドミニカ共和国、ペルー、ミャンマー各1名
5. 定款第4条(5)の事業	440万円	内視鏡医学研究のため国際学会に参加する研究 医に対する助成 内視鏡医学研究医海外派遣助成 21件 (前年度21件) 消化器分野 DDW 6名、UEGW 6名、 APDW 2名、SAGES 2名 呼吸器分野 なし 泌尿器分野 なし 外科分野 ELSA 3名、ACS 1名、EAES 1名
6. その他	377万円	助成事業に関連する会議費 選考委員会及び贈呈式等開催費用
合計	4,367万円	